

## 第1回岡山市における公立夜間中学の在り方検討会における主要な意見

1 日 時 令和4年10月3日（月） 午後6時から午後7時45分まで

2 場 所 ピュアリティまきび ルビーの間

3 出席者 委員 9名

4 傍聴者 報道 8社12名 傍聴者 0名 市議会議員 2名

5 議 題 岡山市における公立夜間中学の在り方について

6 主な意見

- ・ 目指す学校像について、「多様性を大切に生かし」とし、「挑戦」ではなく、「安心して夢や希望に向かって進める」としてはどうか。
- ・ 高等学校卒業生にも様々な層の人がおり、広く門戸を開くことが必要で、入学対象者の条件に「高等学校以上の学校を卒業・修了していない人」を入れるべきではない。
- ・ 高等学校は、試験で入学し単位認定で卒業しているので原案が妥当である。
- ・ 他の市町村からの受け入れについては、できるだけ広くお願いしたい。
- ・ 入学については、一年中受付をしてほしい。
- ・ 修業年限については、文部科学省も小学校段階の各教科等の内容の一部を取り扱うことができるとしており、小学校6年と中学校3年の最低9年でお願いしたい。
- ・ 本人が学びたいということで修学年限を9年まで認めると中学校として成立しないのではないか。
- ・ 給食を一緒に食べることは仲間づくりにつながる。また、落ち着いて学ぶことができるので、給食は大切である。
- ・ 技能教科は大切で、時間数を減らさずに同じ割合にすべきある。
- ・ 教科については、技能教科を行わないだけでなく、ニーズを踏まえた方針だと理解している。ニーズ調査でも教師の支援が必要な学習を求める声が多かったと思う。
- ・ 国語と数学をしっかりやってほしい。体育はやりたい人がやればいい。また、高齢者と若者が一緒にはできない。
- ・ 日本語学習コース、標準コース、進学コースなどコース設定も出てくる。減らすというだけでなく、多様なコースを設定するとか、習熟度別に見る等の表現にしてほしい。
- ・ 生徒会を組織することを明言していることはうれしい。
- ・ 部活動は記載しない方がいいのではないか。
- ・ 令和7年4月開校の理由が職員室の整備ならば、整備の仕方や方法を考えないといけない。